

値上がりする資産を当てることはできますか？

値上がりする資産を予想する前に、まず代表的な資産の特徴について確認しましょう。

資産は大きく分けると、株式や債券といった元本割れの可能性がある資産と、預貯金のように元本の安全性が確保されている資産に分けることができます。

投資信託は株式や債券などの元本割れの可能性がある資産を投資対象としています。

株式とは、会社が発行する証券のことで、購入するとその会社の株主になることができます。業績によって株価や株主に支払われる配当金は変動します。元本の保証はありません。



株式は証券会社を通して、売買することができます。

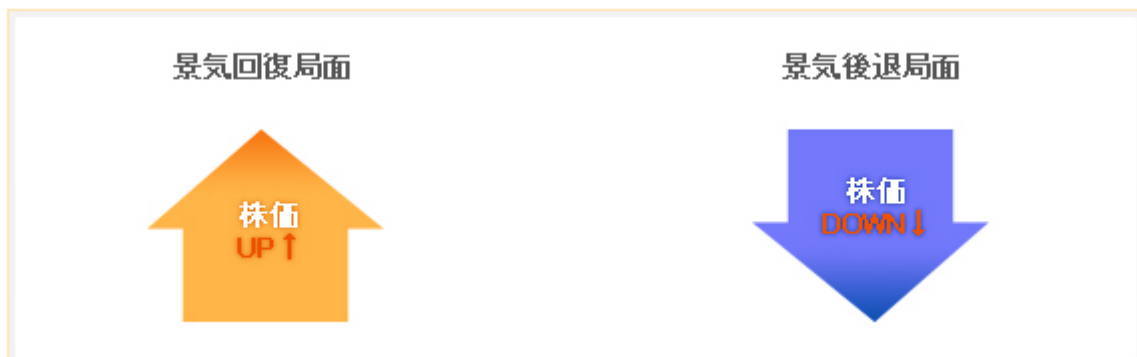


債券とは、国や企業等がお金を借りるときに発行する借用証書です。債券ごとに満期が決められていて、通常、満期には元本が返ってきます。利付債券を購入すると、満期までの間に定期的に決まった利息を受け取ることができます。



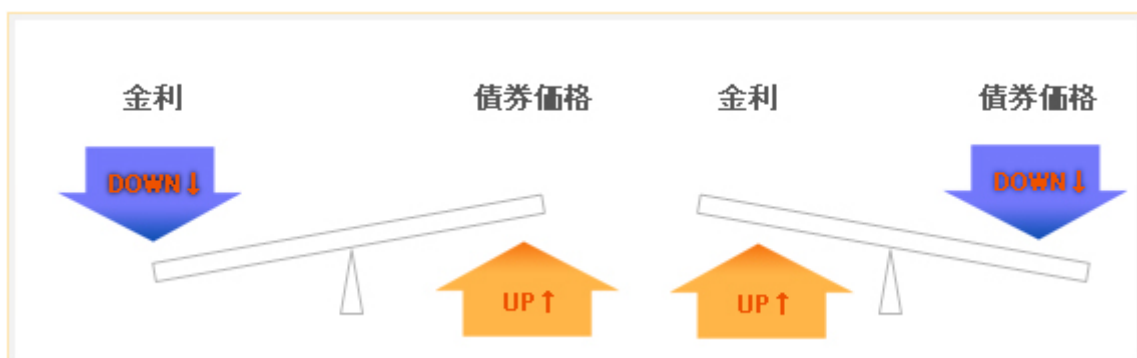
株価や債券価格に影響を与えるのは何でしょうか？

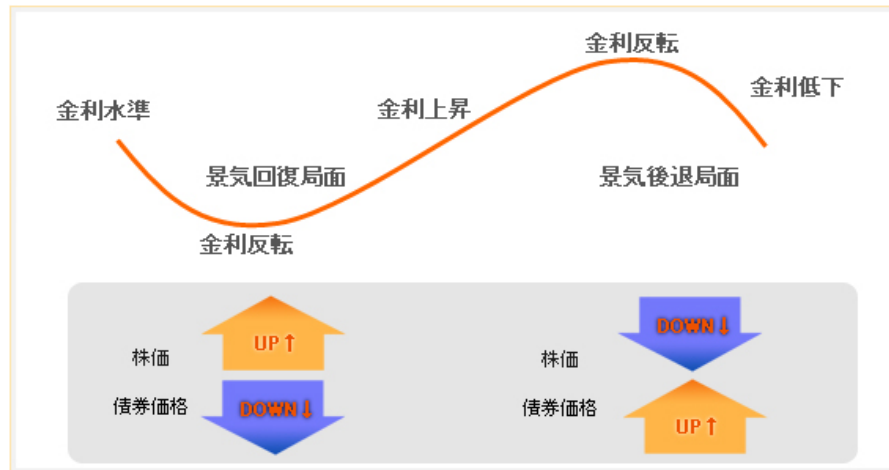
株価は企業の業績などに影響されるため、景気の変動と関係しています。景気拡大時に株価は高くなり、景気後退時には株価が低くなる傾向があります。



債券を満期まで持たずに途中売却する場合の価格は、金利変動の影響を強く受けます。

金利が上昇すると債券価格は下落し、金利が低下すると債券価格は上昇する傾向があります。





さて、景気と金利の動向を予想して株式で大きな収益を得ることはできるでしょうか？

一般的に株価は景気の先行指標と呼ばれ、景気が回復し始めたころには既に上昇していて、一方景気が後退し始めたころには既に値下がりしているといわれています。株価動向を当てることは難しいのです。

国内株式だけではなく他の資産クラスも見てみましょう。この図は各資産クラスのリターンの順位を表しています。常に 1 位になっている資産がないことがわかります。

毎年 1 位になる資産を当てていけば大きな収益が得られそうですが、国内株式の値上がりを予想することさえ難しいのですから、他の資産を含めて考えた場合に、間違いなく値上がりする資産を毎年当てていくことはなおさら難しいのです。

主要 4 資産と分散投資した場合のリターン推移

2007-2022

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
最高 リターン ↑	第 1 位 外国 株式 4%	国内 債券 3%	外国 株式 39%	国内 債券 2%	国内 債券 1%	外国 株式 32%	外国 株式 55%	外国 株式 20%	国内 株式 10%	外国 株式 5%	国内 株式 20%	国内 債券 0%	外国 株式 27%	外国 株式 10%	外国 株式 37%	国内 株式 -4%	?
	第 2 位 外国 債券 4%	外国 債券 -17%	4資産 分散 13%	国内 株式 0%	外国 債券 0%	国内 株式 20%	国内 株式 53%	外国 債券 16%	4資産 分散 1%	国内 債券 3%	外国 株式 18%	外国 債券 -6%	国内 株式 17%	国内 株式 7%	4資産 分散 12%	4資産 分散 -6%	?
	第 3 位 国内 債券 2%	4資産 分散 -29%	国内 株式 8%	外国 株式 -1%	4資産 分散 -6%	外国 株式 19%	4資産 分散 31%	4資産 分散 12%	国内 債券 1%	4資産 分散 1%	4資産 分散 10%	4資産 分散 -8%	4資産 分散 12%	4資産 分散 6%	国内 債券 -12%	国内 債券 -6%	?
	第 4 位 4資産 分散 -1%	国内 株式 -42%	外国 債券 7%	4資産 分散 -3%	外国 株式 -10%	4資産 分散 18%	外国 債券 22%	国内 株式 10%	外国 株式 -1%	国内 株式 0%	外国 債券 4%	外国 株式 -11%	外国 債券 4%	外国 債券 5%	外国 債券 3%	外国 株式 -7%	?
最低 リターン ↓	第 5 位 国内 株式 -12%	外国 株式 -53%	国内 債券 1%	外国 債券 -14%	国内 株式 -18%	国内 債券 1%	国内 債券 1%	国内 債券 4%	外国 債券 -5%	外国 債券 -4%	国内 債券 0%	国内 株式 -16%	国内 債券 1%	国内 債券 -1%	国内 債券 -1%	外国 債券 -8%	?

※運用コストとして 2022 年 12 月末時点のイボットソン・アソシエイツ・ジャパンの分類に基づく各資産の平均信託報酬率（日本籍公募投信の信託報酬の純資産総額加重平均値）を全期間に対して控除しています。

運用コスト（年率）：国内株式:0.9%、外国株式:0.5%、国内債券:0.6%、外国債券：1.0%

※税金、及びリバランスに係る費用等の取引コストは考慮していません。利息・配当等は再投資したものと計算しています。

※過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。

＜出所＞国内株式：Morningstar 国内株式指数、先進国株式(除く日本)：Morningstar 先進国株式指数(除く日本)、

国内債券：Morningstar 国内債券指数、先進国債券(除く日本)：Morningstar グローバル国債指数(除く日本)、

4 資産分散：国内株式、外国株式、国内債券、外国債券を均等保有したポートフォリオ、毎月末リバランス。

リターンは全て利子・配当込みグロス・リターン。外貨建て指数は、為替ヘッジなし、円換算。運用コスト：Morningstar Direct

値上がりする資産を予想して集中投資した場合、予想が大きく外れたときには大きな損をしてしまいます。

将来は誰にもわからないものですから、投資の初心者の方は難しい予想をするよりも、様々な資産を組み合わせで大きな損を避けましょう。

<重要事項>

Copyright ©2024 Ibbotson Associates Japan, Inc.

当資料はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

当資料は、投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたものです。いかなる投資の推奨・勧誘を行う、あるいは示唆するものではありません。

当資料に運用実績を表示している場合は、過去の実績又はシミュレーションによるものであり、将来の運用成果の獲得を示唆あるいは保証するものではありません。資料上に図表等で、将来時点に関する計算結果や数値を例示している場合は、仮想的な特定の条件のもとでの計算結果や数値の例示を目的としています。当資料に記載されている情報、データ、分析、レポート、意見は、当資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。

当資料に掲載している情報は、イボットソン社が信頼できると判断した資料に基づいていますが、その情報の正確性、完全性、及び将来の市況の変動等を保証するものではありません。

イボットソンは、法律により定められている場合を除き、本レポートの情報、データ、分析、意見を利用して行ったいかなる投資の判断、損失、損害に責任は負いません。

当資料にある指数はそれ自体運用商品ではなく、直接投資することはできません。

過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。

Morningstar の商号、ロゴは Morningstar, Inc.の商標登録です。当資料には、Morningstar の専有情報が含まれており、Morningstar から事前の書面での承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。